



No.57

令和4年7月19日

発行 多治見市教育研究所

URL: <http://school.city.tajimi.lg.jp/kyoiku/>
本誌は、多治見市教育研究所ホームページ上でも
ご覧いただけます。

巻頭言

転ばぬ先の杖よりも

多治見市教育委員会 教育次長 林伸彦

ある朝、新聞を読んでいると「人を育てる」という見出しとともに、杉良太郎さんの言葉が目にとまりました。そこには、「今は自分で目標を立てられない人が増えているように感じる。それを達成するための苦労や努力も受け入れられない。子どもの頃の環境が重要だ。よく話を聞き、頑張れる環境をつくってあげることが社会の最重要課題だ。」といった意見が書かれていました。市内の各学校から出される指導計画などに「やる事が明確になれば、素直に誠実に取り組めるが、主体性に弱さがみられる」といった実態を多く見かけることを思うと、身につまされる思いになりました。

私たちは、子どもが成功体験を積み重ねながら自信をもつことを大切にしてきました。しかし、成功させることが上位の目的になると、失敗させまいと必要以上に教えてしまいがちです。こうなると、子どもも言われたことをやるのが目的になってしまい、目標がもてませんし、成功へのプレッシャーから失敗が怖くなってしまふこともでてきます。

未だに出口の見えない新型コロナウイルス感染症のように、世の中には自分で答えを見つけなければならぬ未知の課題がたくさんあります。そんな課題に立ち向かうためには、答えを待っていても前には進めません。自分で考え、一歩踏み出してやってみること、そしてやってみて出た結果をもとに解決の方法が見つかるまでを探っていくという、主体性と粘り強さが必要です。これは、まさに杉さんが必要だという「目標を立てる」力や、「目標を達成するための苦労や努力も受け入れる」力です。

では、学校の生活の中でこの力を付けていくには、どうしたらよいのでしょうか。

例えば教科の授業ではどうでしょうか。

「目標を立てる」力を養うのは、導入の課題づくりです。前時とのつながりや本時のねらいから何を課題（目標）にするかを私たちがじっくり吟味します。そして、課題を明確にもたせてやる気にさせるために見せたり話したりします。一番の教師の出場はここです。

「目標を達成するための苦労や努力も受け入れる」力を養うのは、追究の部分です。

子どもたちは、まず自分の考えづくりからスタートします。そして仲間と考えを交流し、練り合い、自分の考えを修正しながら課題の解決に向けて知恵を絞ります。ここでの私たちの役割は、教えることよりもつまづきを支援したり、子ども同士をつないだりすること、そして、修正しながら課題を解決していこうとする粘り強さを価値付けることです。修正していくことに価値が置かれれば、失敗は修正のための材料となります。歓迎とまではいかななくても恐れるものではなくなるのではないのでしょうか。

追究段階を子どもに委ねるためには、試行錯誤をする時間の保障が必要です。簡単なことではありませんが、教育長訪問などで授業を見せていただくと、タブレットや大型モニターを上手に使う子どもが考える時間を生み出そうと工夫されている先生方を多く見かけます。そうした先生方をお手本として、修正しながら目標を達成するための苦労や努力を受け入れる力を養っていくことが、今、私たちにも求められています。



土曜学習 わがまち 多治見大好き講座 素敵な出会いが、今、ここに！

この土曜学習講座実施事業は、子ども達の豊かで有意義な土曜日の実現と、子ども達が「多治見大好き」になり多治見を誇りに思い、新たな一歩を出そうとする大人に成長することを目的としています。

I 5/21「虎溪山永保寺に学ぶ」



座禅体験

一般公開をしていない永保寺の国宝「観音堂」と「開山堂」の拝観、座禅堂での坐禅体験を行いました。また、新緑の中、国指定の名勝「永保寺庭園」を歩き、感謝の気持ちを込めてお

礼の清掃ボランティアを行いました。心が洗われるような空気の中、子ども達も700年前の時間の流れの中にどっぷり浸っていました。

感想「座禅はちょっと怖かったけど楽しかったよ。優しく声をかけてくれたみんなのことが好きになったよ。」

「岐阜県にある国宝3つのうち、2つも多治見市の虎溪山永保寺にあると知って、約700年前の夢想国師さんは、すごいと思いました。多治見市観光ボランティアガイドさんの説明がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。」

II 6/11「美濃焼名人になろう2022」

美濃焼ミュージアムでは、クイズを解きながら、美濃焼の歴史と魅力を学びます。美濃焼の器で抹茶（お菓子）も味わいました。

陶磁器意匠研究所では、研究生の1対1の指導の下、ペン立て等の作陶に挑戦しました。また、研究所内の見学では、多彩な釉薬の色のひみつも教えてもらいました。



研修生指導の作陶体験

感想「ペン立てでは、上手に教えてもらえ、いい作品ができました。色が何色か早く見たいです。お茶会は、いつもは苦いお茶のはずが、なぜかおいしくてびっくりしました。」「陶磁器がとても好きになりました。美濃焼がとてもきれいだったし、美濃焼クイズも楽しかったです。本当に感謝します。」

III 7/2「チャレンジスポーツ in 多治見」

～田中亮明選手とふれあう会～

前半は、東京オリンピック銅メダリストの田中亮明選手をお招きし、中学生による司会で「田中亮明選手とふれあう会」を開催。亮明選手は受講者からの質問に優しく対応され、銅メダルも見せてくださったので、会場は大興奮でした。亮明選手の「体力作りは簡単なことからやればいい。」「親に感謝。」との言葉が心に響きました。

後半は、亮明選手のお父様や中京高校ボクシングの部員・多治見市に拠点を置くプロバスケットボールチーム GIFU SEIRYU HEROES の選手たちからも、スポーツの楽しさを学びました。



田中亮明選手とふれあう会

感想 今回のボランティアでは私自身すごく楽しかったし、勉強になりました。まず、田中亮明選手とふれあう会では、これからの人生に大切なことを学ぶことができたし、バスケやボクシング体験で、小学生の子たちがすごく楽しそうにしている様子を見て、私まで楽しい嬉しい気持ちになりました。

IV コロナ禍で学んだことを土曜学習に活かして

1 最後は、心のつながり～つながりが人を救う～

土曜学習では、毎回、5人程度の縦割り小グループを作り、中学生ボランティアがそのリーダーとなり、初めと終わりに交流会を行います。中学生ボランティアの運営によって市内の小中学生がつながることにより、多治見市に対する愛着をより深め、自分たちの手でコミュニティを創っていかうとする意欲と態度を育成したいと願っています。

2 今、できることを精一杯！

今回初めて、多治見市が提供している一人1台のiPadを持参し、オリンピックでの試合の写真をタブレット上で見ながら説明を聴くことに挑戦しました。土曜学習でも、タブレットで写真を撮り、デジタル日記を完成できるといいですね。

V 発見！多治見の魅力（アンケートより）

今回を通して気づいた多治見のよさは、誇れる国宝が2つもあることや、それを大事に守り抜こうとする多治見の人々です。（5月）

多治見の魅力的なものの1つである「美濃焼」について知ることができた。美濃焼の歴史や作り方を学ぶにあたって、長い時間をかけてよい物を作ろうとしていることが分かり、これからも大切にしていきたいと思う。（6月）

多治見のいい所は、こういう風に世界で活躍されている方々がものすごく身近にいらっやあって、いい刺激を私たちに与えてくださるところだと思います。（7月）

なかなか体験できない事がとても楽しく体験でき、子どもの心の成長を感じました。夢を見る事叶える事これからの子どもの成長がまた楽しみです。（保護者）

ICT 教育推進員の紹介

ICT 教育推進員さんって 何をしているの？

多治見市の子どもたちや、先生たちが、ICT 機器を上手に使えるように、機器や授業での使い方、アドバイスをしたり、iPad の様々な設定をしたりして ICT に関するすべてをサポートしています。

担当の学校

奥村：養正小 小泉小 池田小 南姫小
多治見中 小泉中 南姫中
中嶋：精華小 共栄小 根本小 北栄小
陶都中 北陵中 笠原中
溝口：昭和小 市之倉小 滝呂小 脇之島小
笠原小 平和中 南ヶ丘中



- 1 好きな食べ物
- 2 好きなスポーツ
- 3 好きな教科
- 4 今一番やってみいたいこと

「G (がんばって) I (いつも)
G (がっこうを) A (あとおししたい)！」

中嶋 信啓



- 1 肉、寿司
- 2 バスケットボール
- 3 保健体育、数学、理科
- 4 宴会

今年度より ICT 教育推進員になりました。iPad 歴 11 年、趣味で続けてきたことが仕事になりました。

多治見市内の児童生徒が ICT 機器も活用して、主体的・対話的で深い学びができるよう支援していきたいと思っています。特に、ICT の苦手な子どもたち、先生方の力になりたいと思っています。気軽に声をかけてください。

最近、GoPro を購入し、YouTuber への道も歩み始めました。動画編集に興味のある方と意見交流できたら幸いです。

「変わる授業風景 - ICT 利活用」

奥村 靖



- 1 刺身 唐揚げ 麺類
- 2 水泳 サイクリング
- 3 社会 国語 音楽
- 4 ロードバイクで旅行

授業風景が変わりつつあります。以前は教科書・ノート・黒板・先生の説明…。今や端末・大型モニタ・学び合い…。子ども一人一人が学習ツールの iPad を使えるようになり、教える授業から学ぶ授業へと、授業そのものの質的転換が起きています。デジタルネイティブの子ども達を相手に、先生方が日々 ICT 利活用の研究実践を重ね努力されている結果だと感じています。そんな学校の先生方のお手伝いができるといいなと思っています。少しでもお役に立てるよう、私も勉強したいと思います。気軽にお声がけしてもらえると嬉しいです。よろしくお願いします。

「お役に立てれば幸いです・・・」

溝口 喜久



- 1 出汁にこだわった麺類
カニとエビ
- 2 サッカーとスキー
- 3 理科と社会
- 4 電氣化された車で日本中を旅行したい

3 月に 38 年間の教員生活を終えました。恵那市の長島小を振り出しに、北陵中・陶都中、サイエンスワールド、多治見中、南姫中、土岐市の妻木小、最後は母校の小泉小でお世話になりました。振り返ると、特別活動やサッカーの指導・理科や情報教育に注力してきたように思います。現在は、川南の小中学校（7 校）の ICT 推進員の役をいただいています。授業での活用相談や苦手意識の軽減、ICT 活用による仕事量の削減など、お役に立てれば幸いです。市内の小中学校を 3 人の推進員で力を合わせてサポートしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

今年度、新規に採用された先生方の紹介

「子どもと共に成長を」



精華小学校 各務 博紀

私が教師を志したのは中学校での恩師との出会いでした。陸上競技を通して、技術だけでなく努力することの大切さを教えてくださった恩師に憧れて教員になりました。

4月から多治見市の小学校に勤務させていただく中で、子ども達がとても元気で素直だなと感じます。疲れているときも、子ども達から「先生、おはようございます。」と笑顔で挨拶されると「今日も頑張ろう!」と元気がわいてきます。また、私が悩んでいると、忙しくても丁寧にアドバイスしてくださる先輩方に支えられながら、とても充実した毎日を過ごしていることに感謝しています。

これからも試行錯誤の日々が続くと思いますが、先輩方から学びながら子ども達と共に成長していきたいです。今後も子どもの幸せを第一に考えて努力していきます。

「生徒と共に成長する教師になるために」



陶都中学校 相田 梨

あこがれの教師という仕事を始めて3か月が経ちました。日々、教材研究や学級づくりについて考えることで、教育に携わることの楽しさと難しさを感じています。この3か月間は毎日が充実

しており、様々な経験をすることができた内容の濃い期間でした。学校では生徒と共に喜んだり成長を身近に感じたりすることができました。私が教師として大切にしていることは、生徒の可能性を最大限に引き出すことです。この3か月で改めて「生徒の力は素晴らしく無限大にある」と実感しました。生徒一人一人の思いを普段の生活からも感じ取り、生徒から頼りにされる教員になりたいと思います。私は学級づくりや授業づくりを通して教師として必要な力を身に付けて、毎日生徒と共に成長することができる教師になれるように努力していきたいです。

「寄り添うことのできる教師を目指して」



陶都中学校 能登 彩綾

教師として教壇に立ち始めて、3ヶ月が経ちました。学級経営や教材研究など慣れないことばかりですが、丁寧に教えてくださる先生方や、明るく元気な生徒たちに支えられながら、とても充実した日々を過ごすことができています。

生徒たちは、毎日様々な様子を見せてくれます。よりよい授業を目指し、積極的に発言をする姿や、自分たちで声を掛け合って学校生活を充実させようと努力する姿など、常により良い姿を目指して、挑戦し続けています。そのような姿があるからこそ、私自身も何事にも全力で取り組み、挑戦し続けることができます。

生徒一人一人に寄り添うことのできる教師であるために、生徒と共に学び続け、共に成長することができるよう、頑張っていきたいです。

お知らせ

令和4年度 第66回多治見市科学作品展

日時：令和4年9月3日（土）

9月4日（日）

午前9時～午後5時まで

場所：笠原中央公民館

アザレアホール

市内21校の小中学生の皆さんが取り組んだ科学作品の展示会です。今年度も、コロナ感染拡大予防の対策を十分に講じて実施します。ぜひ、ご来場ください。

